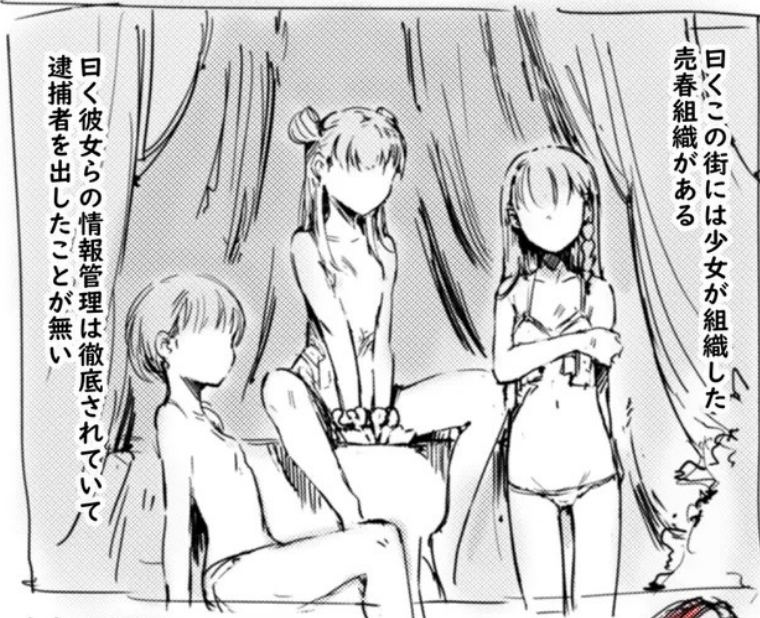


あゝ街の都市伝説



この街には一つの都市伝説があった

ネットの片隅で語られるそれは非現実でありながら、時折書かれる体験談はとも生々しく私の興味を引いた



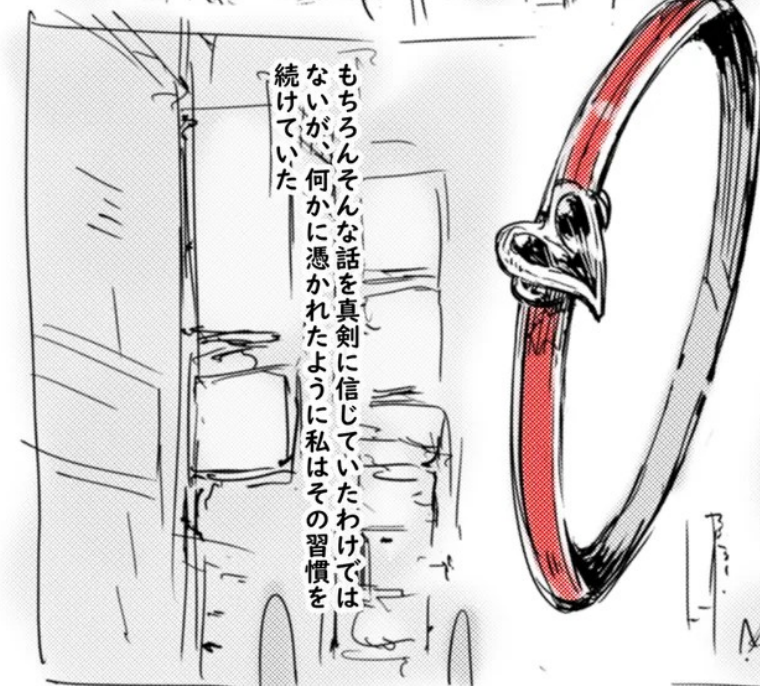
曰くこの街には少女が組織した売春組織がある

曰く彼女らの情報管理は徹底されていて逮捕者を出したことが無い



曰く彼女らは赤いブレスレットを目印にしており、合言葉を言える人しか相手にしない

生来の少女趣味を拗らせていた私は、その噂を目にしてから仕事終わりに夜な夜な街を彷徨い歩くようになった



もちろんそんな話を真剣に信じていたわけではなく、何かに憑かれたように私はその習慣を続けていた



そんな日々が数カ月続き自分でもばかばかしく感じ始めて居た頃...

はは...
何やこりんか
信...

ん...なんでこんな時間に子供があんなところに...

あれは...まさか...



あの...

君は...

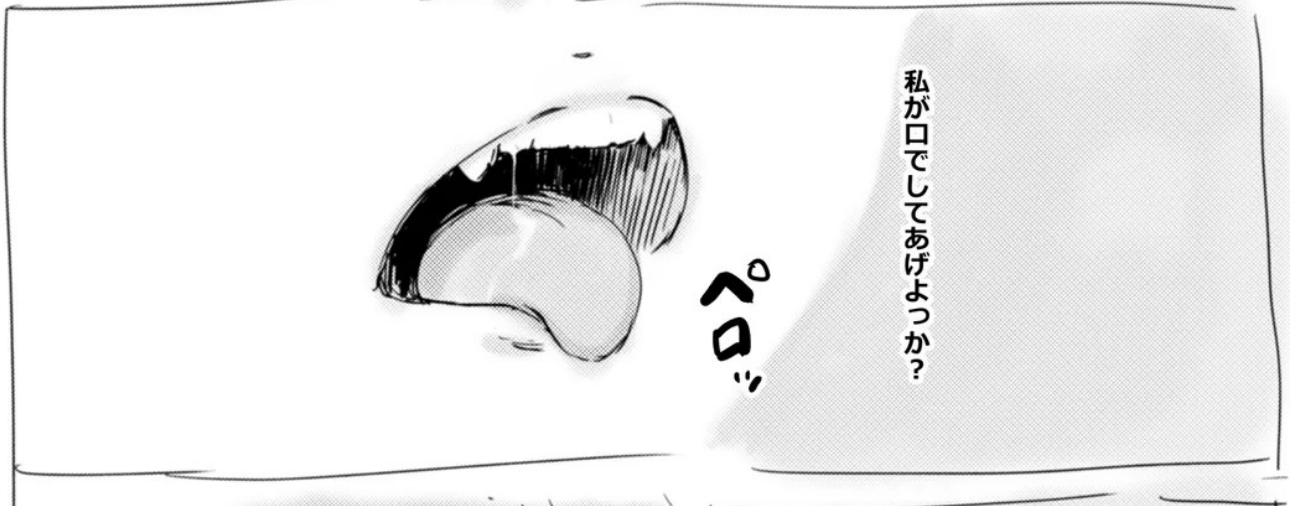
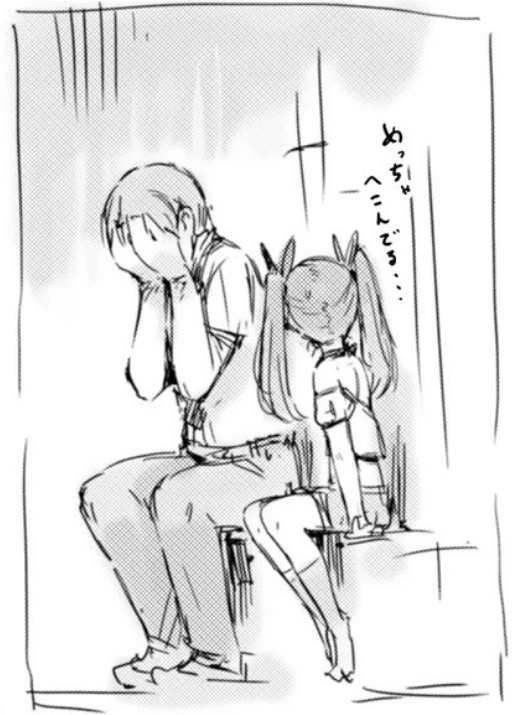
はよ?

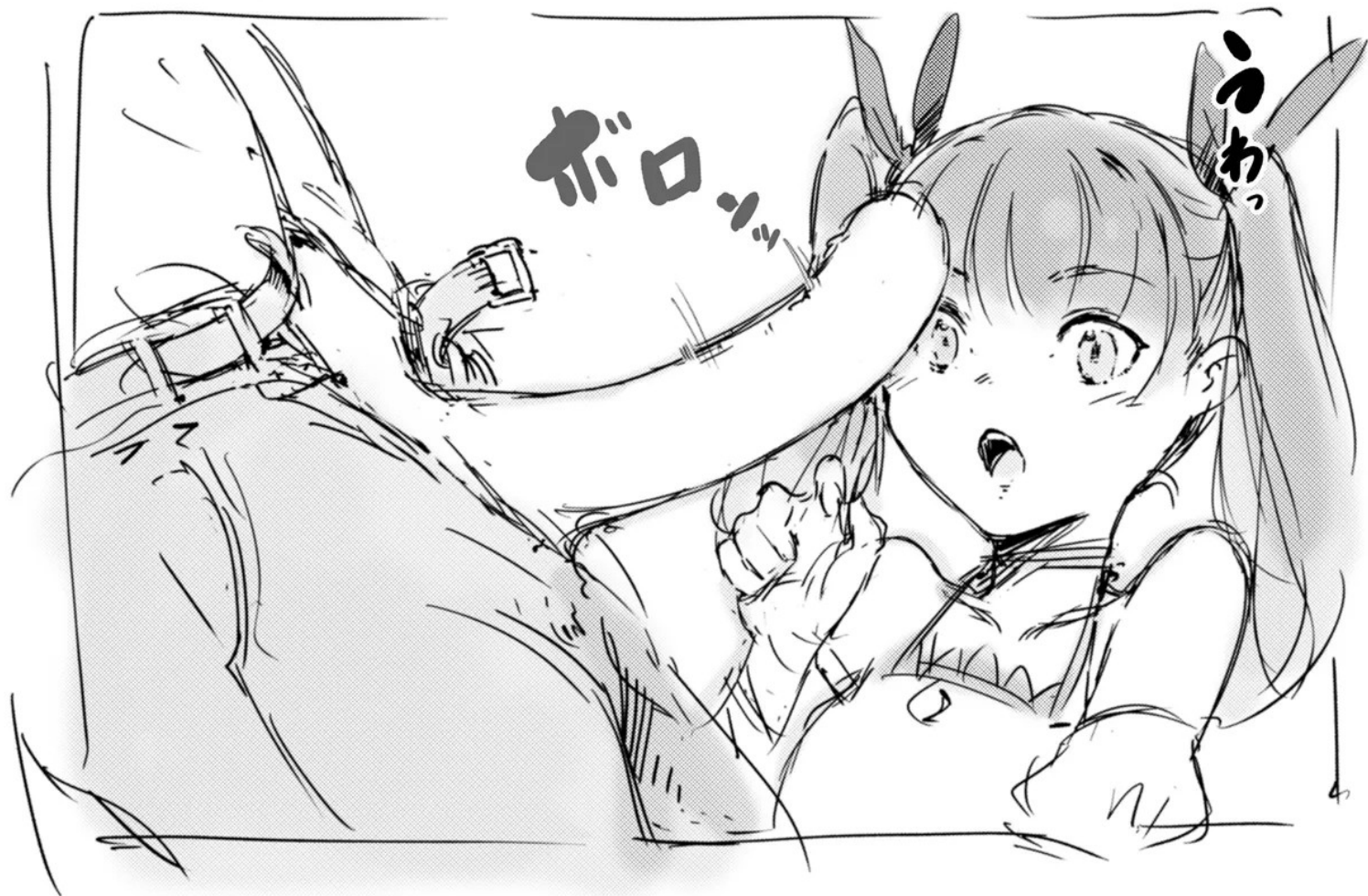
おどろかっ

かん...



そこで身分証代わりにこのブレスレット
渡してるんだよ







うっ…俺のちんこを子供が舐めてる…っ！

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

まだランドセル背負ってそうな子が…

そんなところまで…

ちゅる
ちゅ

ちゅる

ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

はむ

はむ

あ…

あ…



ああ…口の中あったかい…
舌が絡みついてきて…



ヌルヌルで…
ぐちゃぐちゃで…

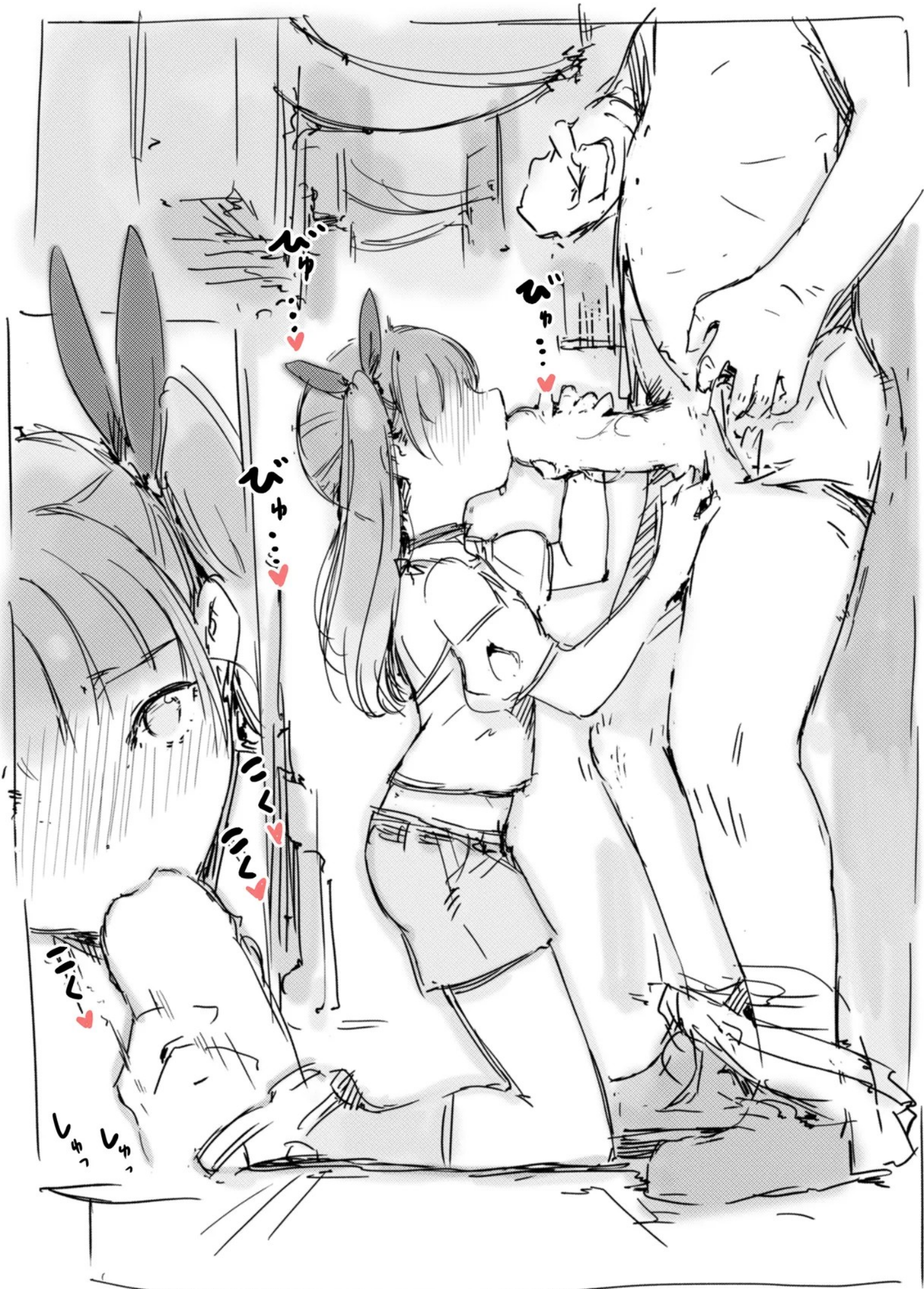


うあつ！
そんな激しくされると…！！

うう…
射精るっ！
射精るっ！！

射精……っ！







ドロォ...

かほっ

ほっ
ほっ
ほっ



へんな味?

っっへ

おじさんどうだった?

初めての体験は?

むん むん

たり



もう我慢出来ない...
一緒に最後までしよう？

おじさん落ち着いて...？

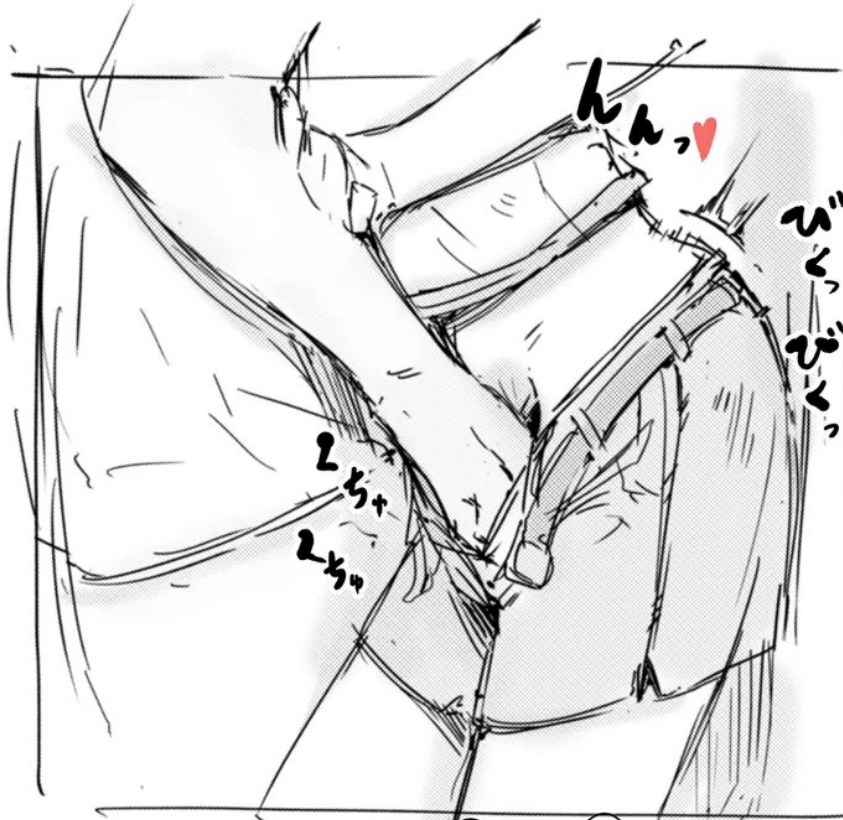
そういう事はちゃんと
好きな人とやりたいな...なんて...



わ



ズボッ



こんなに濡れちゃって...
君も期待してるんじゃないか♥



これなら同意ってことで
良いよね♥

うわ…子供マンコが丸見えだ…
綺麗なピンク色してるよ

やあ…

そんな近くで
見ちゃだめだよお…

すげえ…ひくひくしてる

ニ

ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ

んっ
♡

柔らかい…

大福もちみたいだ…

んっ
♡



ココもおちんちん欲しいって言ってるよ♡

たら：

それじゃひとつになろうね♡

おじさんと一緒に初めての経験しようね♡

だめだよ

や

あ

はっ

はっ

あ

ぬう

ぴん



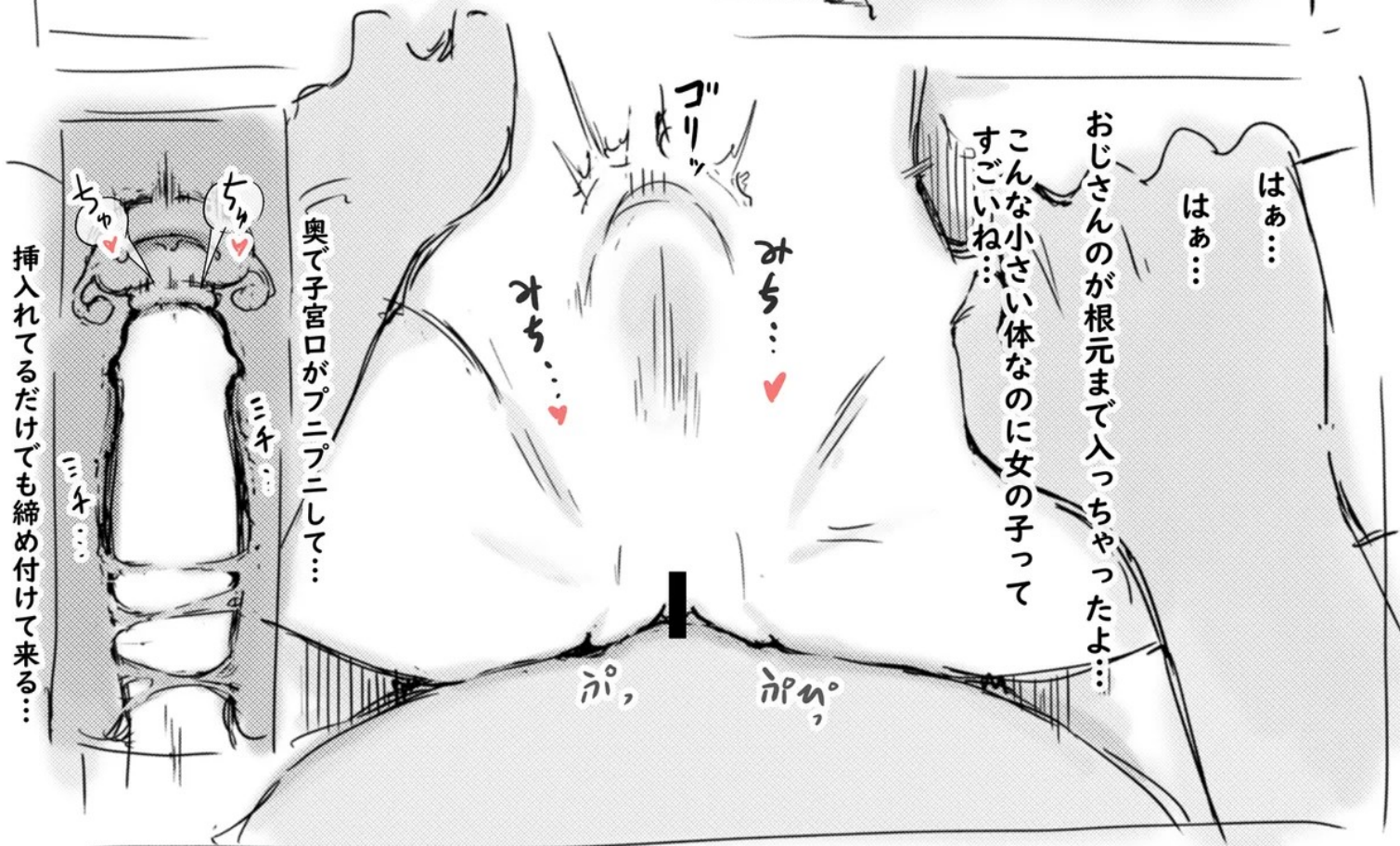
う...狭くて全然入らない...

はいれっ...
挿入いれっ...!



あっ...あっ...挿入ってく...

キツキツの幼マンコに
俺のちんこが...う!



ふっ！ふんっ！

パンッ
パンッ
パンッ

ヌルヌルした穴が締め付けてきて…
セックスがこんなに気持ちよかったなんて…！

パンッ
パンッ

パンッ
パンッ

法律で守られてる女の子の
大事なところが俺のものに…

背徳感で脳がしびれる…

ドクンッ
ドクンッ

おっ…
つかぬ…
つかぬ…
つかぬ…

やっ
あっ
あっ

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ





おっおっ...

精子上がってきた...

射精る...

射精すよっ!

バチュッ

バチュッ

バチュッ

バチュッ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

パッパッ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

どいどい...

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

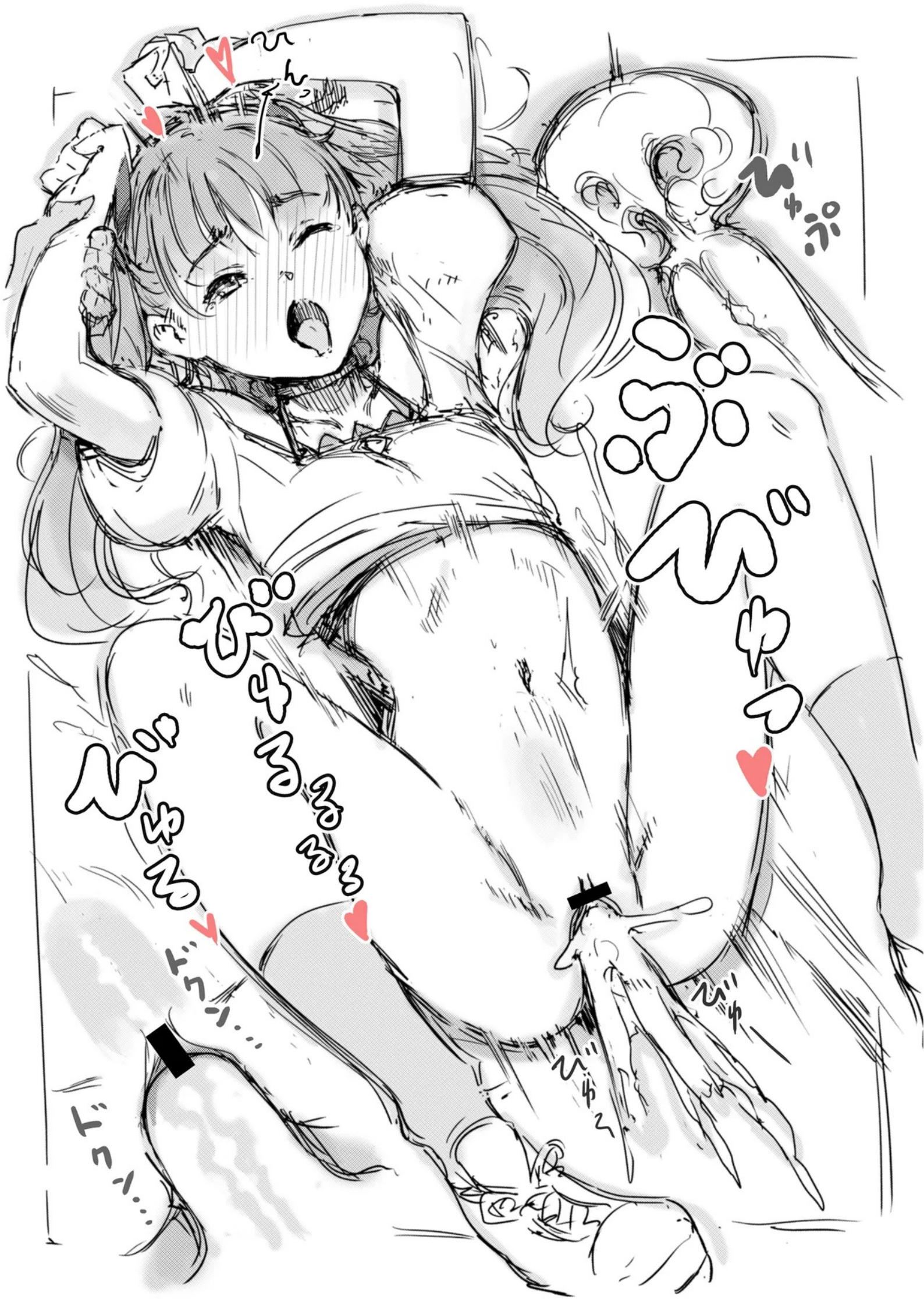
ちゅ

ちゅ

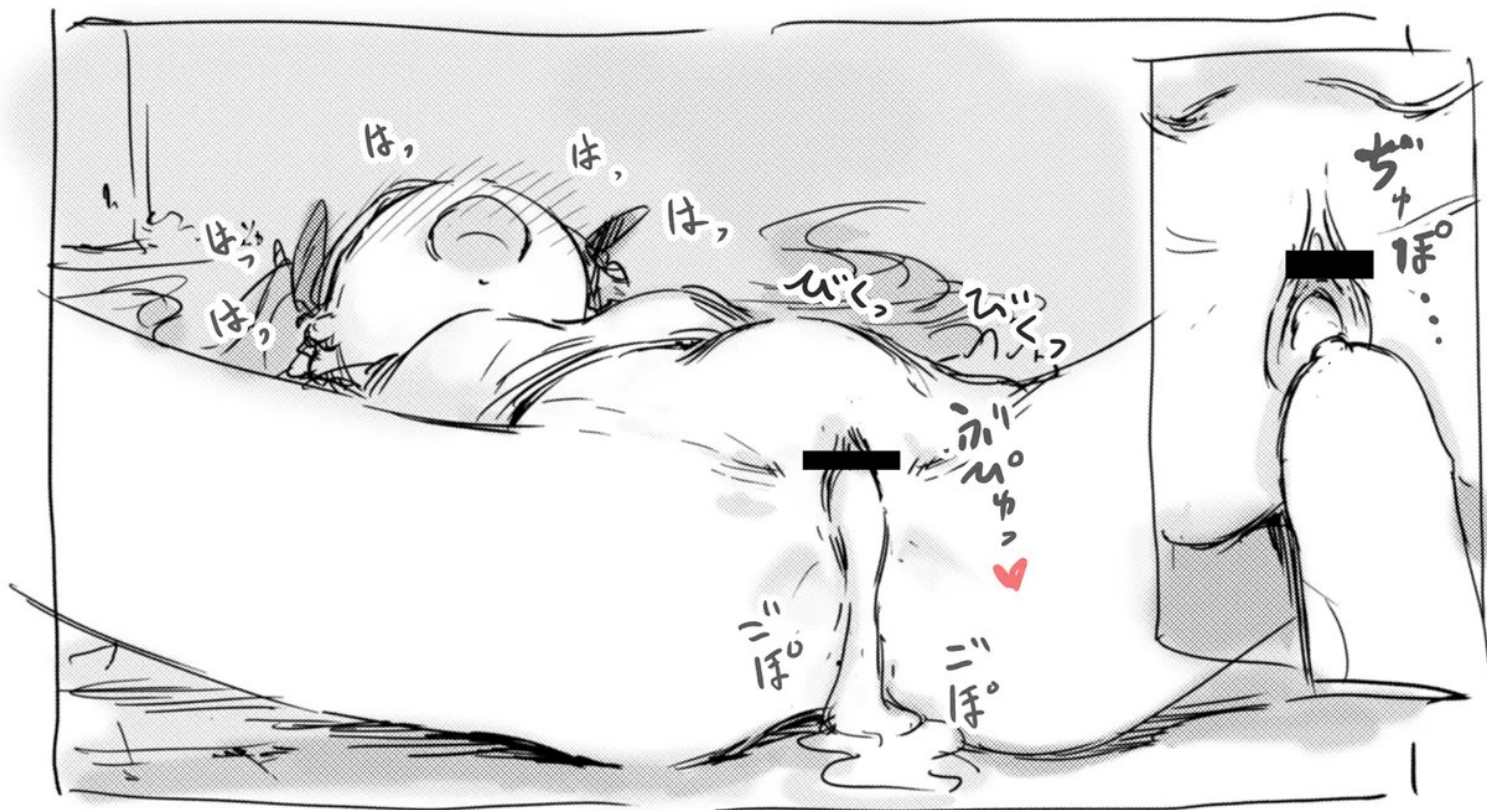
パッパッ

パッ

パッ







名前も知らない子と
子作りセックスしてやった...

こんなかわいい子と...



やった...

俺はやったぞ...



まだ...

まだ...

ムワッ...

バチ

バチ

バチ

バチ

バチ

バチ



ドキュッ

ふっ...うっ...

精子と愛液が混ざってぐちゃぐちゃだ...

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

子供なのに...
もう受け入れる準備が出来てるんだね...

あっあっ!

また射精するよっ!

赤ちゃん部屋でちゃんと
精子受け止めてねっ!

出来ちゃったら...責任...
責任取るから...!

ふっ!

うっ!

いいよねっ!
射精すよう...!

あ

ハキッ

ハキ

ハキッ

ハキッ

やだめだよ...
やだめだよ...

あ



膣内射精いっつ！



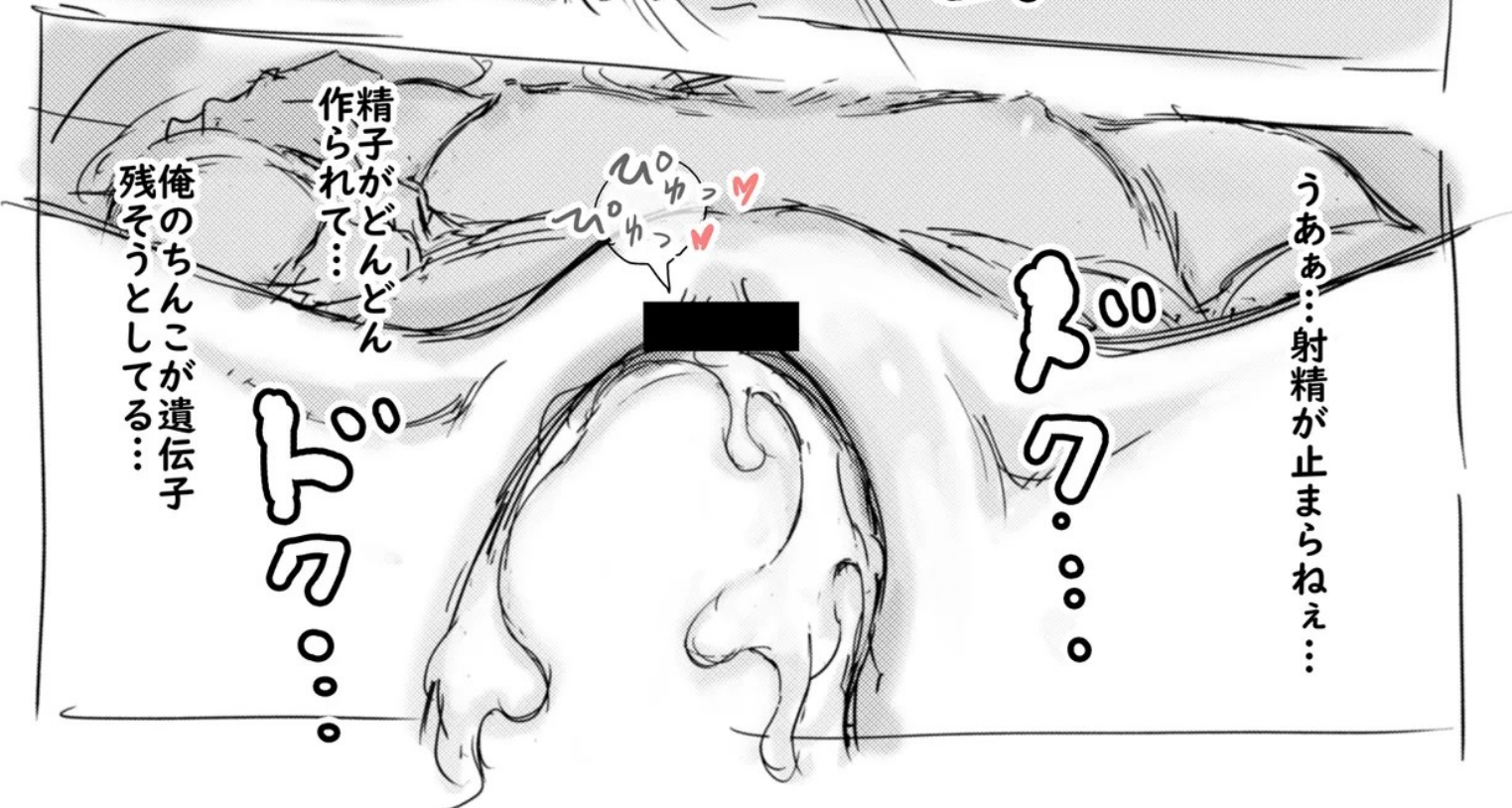
うああ…射精が止まらねえ…

精子がどんどん
作られて…

俺のちんこが遺伝子
残そうとしてる…

ドンク…

ドンク…



ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

ドキュッ

バクッ

バクッ

ドキュッ

ドキュッ

はあはあ…

もう何回射精したかな…

そしたらどうなるんだろう…

こんなに子宮に出したら
本当にこの子妊娠してるかも…

ぢゅ ぢゅ

気持ちよくて
何も考えられない…

最後の一滴まで
この子の膣内に出したい…

うう…また射精る…

うっ!

ふんっ!

がぼっ
がぼっ

がぼっ







はあ……気持ちよかった……

……どうしようこれ……

ぷん

うん



とりあえず服着せて……

あれから一カ月が経った

私はしばらくこの街に
近寄るのを避けていた

あんな事をしておいて、卑怯にも
私は捕まるのを恐れていたのだ

あれからひと月を過ぎようと
いう時になってようやく私は
罪悪感を抑えられなくなり、
この街に戻ってきたのだ

しかし、少女に謝罪しようと彼女の
言っていた訪れた託児所は、人の気配
がないもぬけの殻になっていた。

それから怖くて見ることも
出来なかった当時のニュースや
警察の広報も調べてみたが、
不思議なことにそれらしい事件の
情報は出てこなかった

あの日のことがまるで幻だった
かのように思えたが、あの日の
生々しい記憶がそれを否定していた

私はあの少女に謝罪することも
もうかなわないのだろうか…

はい…

おじさんってば！

どいっ

あ~~~~っ!

やっぱりあの時のおじさんだろ
探したんだよ

君はあの時の...
その...大丈夫だった...?

もうそっだよおじさんひどいよ!

私のことほっぽって逃げちゃって!

フルハニー
しやうかど
思ひやだよ

一生かけて償って...

すまない...
どんな謝罪をしても、
許されるようなことで
はないかもしれないけど...

ううん
償いなんていいの

でも...



責任もって

一生愛してね♡



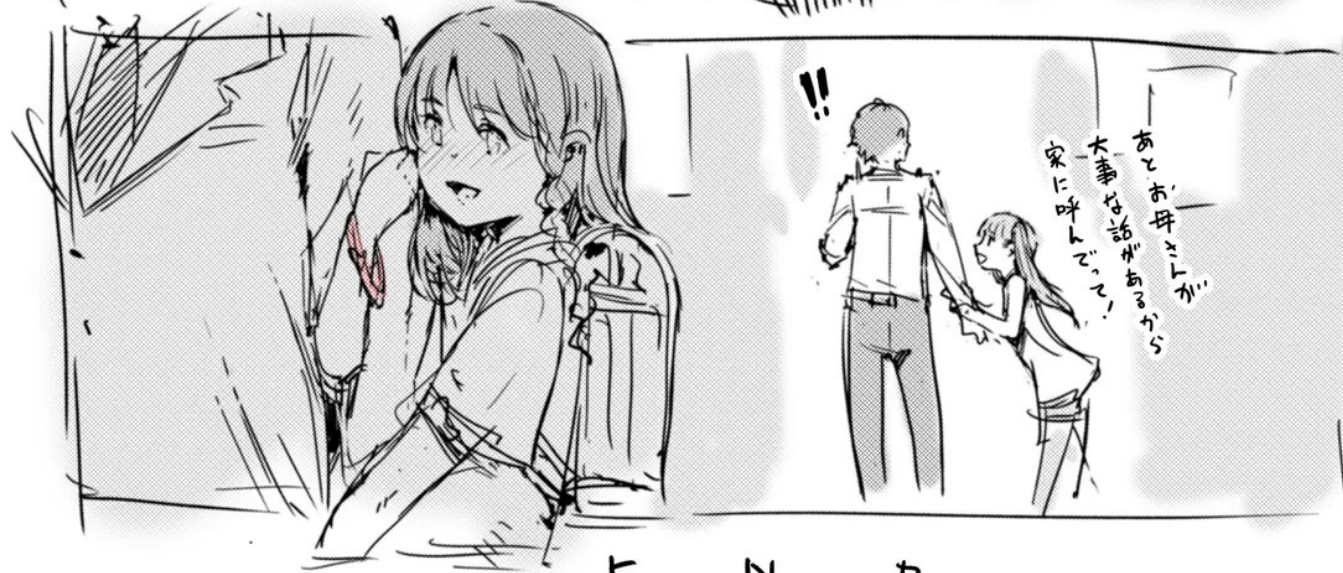
とれじゃ自己紹介!

私の名前は山谷桜果
5年生だよ

おじさんは何?

俺は...

ぽっ



!!
あとお母さんが
大事な話があるから
家に帰って!